

# 学報 神戸大学

No.6

## ◎官報参照事項

- 政令第二百一号 建築士法施行令(六月二十二日)
- 文部省令第二十号 文部省職員定数規程改正(六月二十八日)
- 合同省令第三号 石油製品配給規則の一部改正(七月一日)
- 文部省告示第三十九号 通信教育認定基準(六月三十日)
- 人事院規則 人事院規則一ノ三(法の規定の適用)の一部改正
- 人事院規則 人事院規則一ノ六(委員会の委員等の職務と責任の特殊性に基く法の特例の一部改正)(以上六月二十四日)

## ◎任 免 辞 令

橋 忠 衛

文部教官に任命する

二級に敘する、十一級三号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

教官 山口平八郎

十級三号俸を給する  
神戸大学講師に補する

教官 兼行武四郎

十二級一号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

教官 長井八藏

十一級四号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

教官 真部忠雄

十一級一号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

教官 安藤勳

十二級一号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

教官 出口かね

十級二号俸を給する  
神戸大学助教授に補する

神戸大学助教授に補する

十一級三号俸を給する  
 神戸大学助教授に補する  
 教官 山岡利一

十二級一号俸を給する  
 神戸大学助教授に補する  
 教官 山内一次

十三級一号俸を給する  
 神戸大学教授に補する  
 教官 武田英吉

十二級一号俸を給する  
 神戸大学教授に補する  
 教官 副島吉雄

十級一号俸を給する  
 神戸大学助教授に補する  
 教官 小林正光

十級三号俸を給する  
 神戸大学講師に補する  
 教官 砂原久

十二級一号俸を給する  
 教官 常察久栄

神戸大学講師に補する  
 教官 竹中龍雄

神戸大学教授に補する  
 (以上四月一日文部省)  
 文部教官に任命する  
 三級に敍する、十級一号俸を給する  
 神戸大学兵庫師範学校勤務を命ずる  
 教官 藤井祐一

十一級二号俸を給する  
 神戸大学教授に補する  
 (以上四月三十日文部省)  
 教官 岸本英八郎

九級一号俸を給する  
 神戸大学助教授に補する(五月十五日文部省)  
 文部教官に任命する  
 十三級三号俸を給する  
 神戸大学教授に補する  
 教官 平田幸之助

文部事務官に任命する 十級五号俸を給する  
 東京大学法学部事務長を命ずる

(以上五月三十一日文部省)  
 兼ねて香川大学教授に補する(六月二十日文部省)  
 教官 田中金司

神戸大学図書館、六甲分館  
 分任物品会計官吏を命ずる  
 教官 奥田秋夫

神戸大学経済経営研究所  
 任物品会計官吏を命ずる  
 (以上六月一日)  
 事務官 原利雄

雇(技術員)を命ずる  
 三級三号俸を給する  
 工学部勤務を命ずる  
 岩見嘉夫

備員(作業員)を命ずる  
 四級三号俸を給する  
 教育学部兼文理学部、  
 御影分校勤務を命ずる  
 (以上六月二十五日)  
 桜井祝

給仕を命ずる、一級二号俸を給する  
 経済学部兼法学部勤務を命ずる  
 (六月十八日)  
 岡田圭三

職務分類員を命ずる(六月二十二日)  
 事務官 中村政俊  
 西倉実

雇を命ずる 六級二号俸を給する  
 事務局会計課勤務を命ずる  
 小西啓介

雇を命ずる 四級二号俸を給する  
 経済学部兼法学部勤務を命ずる  
 (以上六月二十五日)  
 教官 森香中

鳥取大学助手を命ずる  
 (各通)  
 雇 古岡良一  
 同 永田信明

願に依り雇を解く(以上六月三十日)

● 雑 報

神戸大学補導委員を命ずる(五月二十五日)  
 神戸経済大学学部 教官 新庄博  
 神戸経済大学第二学部 全 藤井茂  
 神戸経済大学附属経営学専門部 全 竹中龍雄  
 文理学部文科 全 堀喜望  
 全 橋本純次  
 御影分校 全 阿部真琴  
 姫路分校 全 土橋正二  
 教育学部住吉学舎 全 黒田英一郎  
 全 明石分校 全 吉川正二

全 城北分校 全 河野 勇  
 法 学 部 全 川上 太郎  
 経 済 学 部 全 宮下 忠雄  
 経 営 学 部 全 丹波 康太郎  
 第 二 課 程 全 北林 琢男  
 工 学 部 全 鳥田 家弘  
 角倉 康夫 助教授 昭和二十四年度米国派遣留学生とし  
 て渡米中の処 七月八日帰国  
 早川 武夫 助教授 昭和二十五年米国派遣留学生とし  
 て渡米(一ヶ年間) 七月十日横浜出帆

◎ 昭和二十五年内地研究員について

昭和二十五年内地研究員として追加派遣が左の通り決定した

学部名	職名	氏名	研究場所	備考
神戸工専	助教授	岡野兼夫	京都大学	私費
全	全	浅野駿吉	全	全
工学部	助教授	鳥田家弘	京都大学	私費
全	全	石崎澄雄	全	全
神戸工専	教授	村上正和	大阪大学	私費

全 全 堯天義久 全  
 全 全 小原正三 全  
 全 助教授 大室光正 全  
 全 全 若林信生 全  
 神戸工専 教授 樋渡正美 九州大学 私費

◎ 第二回日本学術会議選挙について

第二回日本学術会議選挙が行われる主なる要項は左の通りである

- 一、選挙の期日 本年十二月十日
- 二、有権者の資格  
 科学又は技術の研究者で次の資格の一つを有する日本国民であること
- 三、有権者の登録  
 所定の登録カードに記入し七月二十日までに提出すること。一切日厳守のこと
- 四、有権者名簿  
 近畿地区では九月十一日から全月二十日まで京都大学事務局および大阪大学医学部記念会館において縦覧に

(イ) 旧大学卒 二年以上 (ロ) 旧専門卒 四年以上 (ハ) その他研究歴 五年以上

供される

異議のある場合は九月二十一日から全月三十日までに出出でること

五、選挙の実施

(イ) 全国区、地方区に分け七つの部毎に同時に行われる  
 投票用紙は十一月十日頃有権者に送られるから本人より直接送附すること

六、立候補及び候補者推薦

有権者は全国区、地方区の何れかに又は両者に同時に立候補し又は推薦されることができ  
 立候補又は推薦の届出は九月二十一日から十月五日までにしなければならない  
 その他不明の点があれば当課に説明書がありますから御覧下さい (庶務課)

予 告

現職教育講座 (高等学校商業科免許法認定講習) 実施(案)  
 主催 神戸大学 神戸経済大学  
 目的 現職教員資質向上と、資格の向上を図るため商業科八単位を開講する

日	科目	講師	単位	履修時間
七日-九日	経済通論	坂本教授	一	(言間) 15
一〇日-一二日	経営学	古林教授	一	(〃) 〃
		丹波教授	一	(〃) 〃
		竹中教授		
一三日-一五日	統計学	水谷教授	一	(〃) 〃
		山下教授		(〃) 〃
一六日-一八日	会计学	久保田教授	一	
一九日-二一日	金融論	矢尾助教授	一	(〃) 〃
二二日-二四日	交通論	野村教授	一	(〃) 〃
二五日-二七日	国際貿易論	藤井教授	一	(〃) 〃
二八日-三〇日	会社法	八木教授	一	(〃) 〃

一、場所 神戸市灘区六甲台 (本学)  
 一、期間 八月七日より八月三十日まで(毎日午前九時-午後三時)  
 一、定員 人員は制限しない。(文部省よりは一応百名を  
 通牒されているが四百名位までは收容できる)  
 一、単位数 八単位  
 一、科目 日程及び講師、並びに単位

一、単位修得の認定 科目につき4/5以上の出席を有する者で本学で施行する成績審査に合格したものに一級教員免許状取得課程としての単位を附与する

一、申込手続、各県教育委員会を通じて本学に申込まれたし

1 申込期間 七月十日―七月二十五日

2 提出書類 受講申込書(略)

七月十一日(火) 午後五時から兼松懇談会開催  
 全 十二日(水) 教育学部において研究発表会開催

小松教官請求に関する公開口頭審理は左の通り開催予定

(第四回) 七月二十日(木) 午後三時―午後六時

(第五回) 七月二十七日(木) 午後三時―午後六時

(第六回) 九月七日(木) 午後三時―午後六時

◎ 主 要 日 誌

六月二十九日

小松教官請求に関する口頭審理  
 (第三回) 開催

全

事務局長会議に長島局長出席

七月四日 金融研究会(武本氏講演) 開催

全 六日 アルバイト対策委員会開催

全 八日 午後一時から第六回経営商学研究会  
 開催